

令和4年度 公益財団法人 いのちの森文化財団 事業報告書

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

健康社会教育・文化事業（講座・講演・フォーラムの開催）

社会情勢を考慮し、「マインドフルネス」1回、「直観力養成講座」2回の開催となり、心の探求講座は中止に変更するなど対応した。またく水輪の会>との共催で、「宇宙の叡智を地球と人類の目醒めのために」をテーマにしたフォーラムを5月、7月、9月の3回開催。5月の連休は講師に医師の帯津良一先生、ホメオパシー協会会長・獣医師の森井啓二先生、ケーシー療法を推進されている光田秀先生、環境問題を中心に人類の目覚めをテーマとした映画の製作を行われている白鳥哲監督、「生き方働き方学校」の生徒達の主治医、いのちの森クリニック院長の井上弘寿先生、横笛アーティストの松尾慧氏等アーティスト等をお招きして開催した。

1. マインドフルネス合宿 1回

日程:①令和4年4月29日～5月1日

講師:川野泰周先生(精神科・心療内科医、臨済宗建長寺派林香寺住職)

医師であり禅僧でもある講師より、心を整えるマインドフルネスを医学的視点と禅的視点から講義と体感・実践通して学ぶ合宿。

講師:川野泰周先生による体感講座。

参加者:各30名

2. 直観力養成講座 2回

日程:① 6月11日～12日 「この世のすべてのものが波動振動で響き合っているⅠ」

② 9月3日～4日 「この世のすべてのものが波動振動で響き合っているⅡ」

講師:細金勝治先生(感覚感知学研究者、株式会社とやの健康ビレッジ役員)

内容:自然・直観・閃きのしくみを学び、本物を見極める目を養い、本当の自分に素直に生きる実践を学ぶ講座

参加者:各回20名

3. 日本食文化講座

(1) みそづくり・郷土料理体験講座

講師 塩澤研一(いのちの森文化財団副代表理事)

みそづくり体験講座や自然農園体験講座を開催。

開催日:2月12日

(2) 醤油づくり講座 岩崎良三氏の講座への参加を募り実施。

開催日:1月23日、3月24日、12月12日

(3) 野沢菜漬け作り体験講座・生産者の交流会など信州の伝統食文化の学ぶ

開催日:11月10日

4. 高齢者の生きがい創造事業

令和4年度も基金を募りながら、高齢者の生きがい創造および青少年育成のためのシェアハウス施設の設立の準備(設計図作成・見積りなど)を進めた。5年度は施設建設に向けて研究会等を開催し、地域に貢献できるシェアハウス施設の実現を進め、引き続き高齢者の生きがい創造基金を募る。

青少年育成事業(環境保全と里山文化・日本文化の継承、意識教育講座)

1. いのちの森青少年育成公開講座

多彩な講師陣による青少年育成講座。医療、音楽、建築、伝統文化、農業、経済、歴史、人間学、哲学、経営、茶道など様々な分野の学びをとおして心の成長を図る講座をこれまで開催してきた。

10月23日 小林桂子監督(映画監督、俳優)

11月7日 宮島基行先生(高野山阿闍梨)

12月6日 細金勝治先生(感覚感知学研究者)

通年 喜多郎氏による和太鼓の指導

2. 自然環境講座2回(5月~10月)

飯綱高原山野草観察会、採集、保存、加工について講座と実践を行い、山野草と環境についての学びを深めた。

講師 塩澤研一(いのちの森文化財団副代表理事)

また信州の美しい自然に触れ、環境問題を考える講座と実習・清掃活動にも参加し、地域との交流を深めた。

3. コケ玉グリーンアートセラピー 随時開催

講師 塩澤みどり(意識教育カウンセラー・ケアリスナー・いのちの森文化財団代表理事)

信州に自生する実生の植物の採集と観察。コケの観察と採集の後、アートセラピーとしてのコケ玉教室を開催した。

4. リーダーシップセミナー 随時開催

講師 塩澤みどり(意識教育カウンセラー・ケアリスナー・いのちの森文化財団代表理事)

青少年育成講座の一環としてリーダーシップを養う教育カウンセラーによる実習青少年育成講座の一環としてリーダーシップを養う実習を毎月実施。

5. 東日本大震災支援

東日本大震災支援のため指定寄付金を募り、福島第一原発の事故の被災地である福島県南相馬市のこども園などを中心に、信州飯綱高原の自然農法野菜をお届けした。支援額は82,000円。

6. 青少年育成基金事業

青少年の育成事業を進めるに当たり、音楽堂の使用に係るインターネット環境、水道光熱費などの経費を青少年育成事業の活動費に充てている。青少年の音楽教育の一貫として喜多郎コンサートを5月と9月に開催、心の教育として小林桂子監督による映画「純愛」を10月に上映した。

自立支援・社会復帰支援事業

社会的に自立が出来ない青少年に対する支援活動。

1. 青少年育成・自立支援個別相談事業

相談者：塩澤みどり(いのちの森文化財団代表理事・心理教育カウンセラー)他

アドバイザー医師：井上弘寿(精神科医師、いのちの森クリニック院長)

対象：不登校、ひきこもり、ニートなどで悩んでいる本人および家族。

相談者は長年、青少年育成に関わってきた経験に基づき、人間関係や日常生活のことなど可能な範囲で情報提供または助言を行い、相談内容に応じては、医療機関や支援機関や専門家を紹介することを通じて、自立支援・社会復帰支援を行った。

2. カウンセリング 随時

講師 塩澤みどり(意識教育カウンセラー・ケアリスナー・いのちの森文化財団代表理事)

3. 自然農園体験学習と援農ボランティアへの支援活動

(長野市社会福祉協議会主催のサマーチャレンジボランティアへの協力を含む)

自然農法をとおしていのちの営みと繋がりを学ぶ実践講座として実施した。

令和元年 7月20日～8月25日

指導員 飛田航介、工藤能久

情報提供事業（環境問題を基軸に意識の変容を迫る啓蒙事業）

1. いのちの森通信の発行

年2回 5,000部 A3版4pの発行の予定であったが、1回の発行にとどまった。

執筆 帯津良一(帯津三敬病院名誉院長、日本ホリスティック医学協会名誉会長)、白鳥哲(映画監督、俳優、声優)、森井啓二(日本ホメオパシー獣医学会会長、しんでん森の動物病院院長)、光田秀(日本エドガー・ケイシーセンター会長)、塩澤研一(公益財団法人いのちの森文化財団 副代表理事)、塩澤みどり(カウンセラー、いのちの森文化財団代表理事)、他、多数の執筆者による環境に対する提言、心・脳の働きと人間の行動、などを通して「共生」への意識を高める啓蒙事業を行った。

会議の開催

令和4年度は1月15日第31回理事会、2月5日第17回評議員会、11月27日第32回理事会を開催した。

令和4年度「事業報告の付属明細書」について

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。